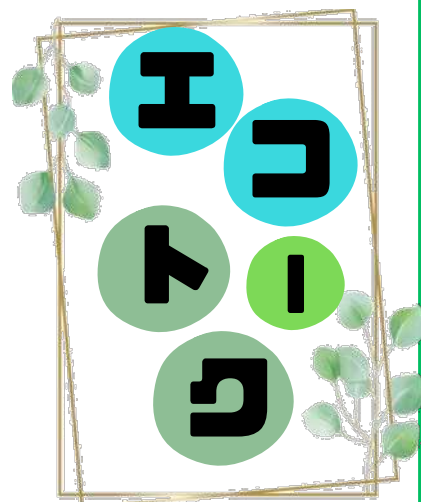


宇美町



(2022年広報11月号)

宇美町にお住いの皆さん如何お過ごしでしょうか？今冬は気温が低くなると予測されていますが、くれぐれもご自愛ください。2年ほど前にシベリア地方の地球温暖化による現象を書きましたが御記憶にあるでしょうか？シベリアの多くの都市の地下数十メートルから数百メートルで永久凍土があり、その上で人々は暮らしているのですが、その永久凍土が近年地球温暖化の影響で溶け始めており、土地が崩落し、大きな湖ができたり、数万年前の病原菌が復活し、家畜や人間に死者が出ています。アメリカのアラスカ地方もやはり北極圏に在りますが、アラスカでも同じような現象が確認されています。地球温暖化の影響は赤道付近の暖かい地方よりも北極圏のほうが深刻で、この10年で平均気温は1℃上昇しています。アラスカ州最大の都市アンカレッジでは今年の6月すべての日で観測史上初めて15℃を上回ったそうです。アンカレッジから数百キロ離れた沿岸部の200ほど在る村のうち70ほどで永久凍土の崩壊が起こり、人々が住むのに危険な状況となり、移住が始まっています。

この沿岸部では数平方キロにわたって地盤沈下が起こり、電信柱は傾き、家々は沈み始め、道路は田んぼのように柔らかくなり、とても危険な状態で人が住めなくなっています。

このままの状況が続けば、今世紀末には平均気温は4℃上昇し、暴風雨などの自然災害が現在の3倍も4倍も増えることが世界の共通認識となっています。

その頃に暮らす人たちのために今私達に出来ることは、限りある地球の資源の無駄使いを無くし、有効利用する方法を考え、実行することではないでしょうか？世界中では排出されるCO2を回収し再利用する技術の研究やCO2を減らしてくれる植物を増やそうと植林を進めたり、CO2削減のための技術開発が盛んになっていますが、何より大切なことはできるだけ出さないようにすることではないでしょうか？何度も書いていますが「私一人くらいが気を付けても何が変わるのか？」などと思わないでください。私たち一人一人は微力ではあっても無力ではないのです。これは地球環境にも言えることです。

文責

福岡県地球温暖化防止活動

推進員 竹吉 栄隆

